

IV 自由意見

1 男女共同参画について

【女性 20 歳代】

- ・ 男女共同をしすぎると男性がかわいそうです。女性は必要以上に優遇されていると思います。
- ・ 教育の場やメディアではセックスとジェンダーの差異や役割について、性差別撤廃をうたっています。一方で、実際の世間がついていけないと思います。それは日本が依然として男性中心的、保守的思考から脱却できていないということではないでしょうか。欧米に比べれば日本の意識改革はまだまだ発展途上だと思います。
- ・ 絶対に男女平等であるべきとは思いません。夫婦、パートナー同士が納得しているのであればそれにこしたことはありません。

【女性 30 歳代】

- ・ 幸い家庭内で、もめごとや心配事が少ないので、今まで男女差について深く意識することはありませんでした。今回アンケートに答えてみて、改めて男女差を考えるきっかけになったと思います。そうやって考えてみると、今の学校教育は自分の子ども時代に比べて多くの点で男女差がないことに何度も驚いたことを思い出しました。中でも名簿が男女混ぜて書かれていたり、体育のマラソンで男女が同じ距離を同時にスタートしたりするのは、男女平等というのとは違うのではないかと、いつも不思議に思います。いろいろ意見を出してよりよい社会をめざし、ただ何でも男女差をなくそうとばかりしないで、「男女共同参画社会」というものが実現すればよいと思います。
- ・ 過度な男女平等、ジェンダーフリーが行われすぎている感じがあります。学校の出席順や背の順など、男女別の方が、特に小学校高学年位からはよいと思います。運動会での競争や持久走大会などは、明らかに男女差があるのに混合で行うのはどうでしょうか。女子などは特に上位を狙えず、モチベーションも上がらないのではと心配します。男性には男性の、女性には女性の特性を活かせるように望みます。
- ・ 男女が生きていく上で、それぞれどちらかをたてなければならないことがたくさんあると思います。男女が平等になるためには、もっと小さい頃から教育の一つとして「相手を思いやる心」を育てることが一番大切だと思います。「こうでなければならない」という考えは、核家族などそれぞれの状況も違えば考え方も違って、難しいことだと思いますが、「曲がった考え」がなくなるようになればよいと思います。改めてそう思いました。
- ・ 男女共同参画をめざし、男女が平等というのではなく、お互いがその役割を果たし、希望する生き方ができるように政策を考えてほしいです。平等だから女性も男性と同じように働けるかと言えば、それは違います。子どもを産む性ということで体調面からもフォローが必要です。お互いを理解し合い、補い合える心が持てるように子どもたちにも教育してほしいです。
- ・ きしわだ女性プランについては、正直あまりよく知りませんでした。アンケートも、もう少し回答しやすく選択肢を増やしていただければと思います。今回アンケートに記入して感じたのですが、改めて女性にとっては、まだまだ社会で活躍するには制約が多く、国や自治体ががんばって、男女が本当に平等となるように社会を変えてもらえればと切望します。
- ・ 私個人としては男性寄りの考え方を持っているので、あまり女性らしい答えや考えではなく、参考にならないかもしれません。祭りを中心として、岸和田市では男性中心の社会が成立しています。また、その男性たちの考え方も幼く子どもっぽく感じます。そういう男性が多い中で、形ばかりの男女共同参画政策というのはあまり意味をなさないと考えます。まずは市役所の中での男女の均衡を(意識レベルで)実践していくべきです。その上で市民に拡げていくのが筋ではないでしょうか。

【女性 40 歳代】

- ・ 男女共同参画政策とは具体的にどのようなもので、何をめざしているのかがはっきりわかりません。男性と女性の間ではそれぞれ能力の違いや性質の違いがあって当然だと思います。戦前の極端な男女差別はあってはならないものだと思いますが、何もかも男女平等にという動きには以前から違和感がありました。男女の差を全面に出すのではなく、一人ひとりの能力や特性をフルに活かせるのが理想だと思います。そういう社会をめざすのであれば、まずこの政策のネーミングから変更するべきです。
- ・ あまり自分が「女」だということを意識したことがありません。1 人の人間として自由に生きていると思っています。子どもが 2 人いるので(すでに独立していますが)、大人としての責任はこれからも果たしていきたいと思っています。そんなに男女平等にこだわることはないと思います。女性側の意識が偏っているのではないのでしょうか。世の中の男性は結構普通ですよ。

【女性 50 歳代】

- ・ 男女共同参画については基本的に賛成ですが、女性優遇がそれにあたるとは思いません。男女それぞれの特性を活かしてこそ本来の平等であり、理想社会の実現の基盤となると思います。人権教育の充実が必要だと思います。

【女性 60 歳代】

- ・ 男女共同という言葉はおかしいと思います。女性は出すぎていて、いばりすぎです。男性はもう少し強くしっかりしてほしいです。今は女にばかりにされ、頭を押さえられ、言葉も返せないだらしない男が多いことに情けなくなります。女性は男性をたてることを知りません。いざとなると何もできないのに男性をなめています。主婦をしっかりして、子育てをうまくやって、ご主人を支えていくことが、本当の女性の仕事だと思います。
- ・ 法律上平等を訴えても平等にはなりません。平等が必要ではなく、生活していく上で必要なことを各自でがんばり、できないところを相手の人がする。また、その反対のこともある。常に心あるカバーにより、スムーズに毎日を送ることができます。または、何かを企画すれば、それが実行されていくと思います。各自の心の教育が必要だと思います。
- ・ 何ごとにおいても男性には男性にできること、女性には女性にできることをしっかりとやり遂げることが必要だと思います。
- ・ 初めてのことで戸惑っています。年齢の差によって考え方が随分違ってくると思います。性別によってではなく、1 人の人間として互いにどう生きるか、思いやりの心が持てるかで社会全体、各家庭が幸福な生活ができると思います。
- ・ 今の 30 代、40 代の女性(20 代も)は、母親としてよりも自分が先に出て、子どものしつけなどにまったく興味がなく、叱るばかりかほったらかしで、そのくせに文句は言います。もっと親と同居し苦勞をしなくてはいけません。今は女性が強く男性が弱くなっています。教育の場も先生が生徒に頭を下げているのを見ますが、おかしいと思います。子どもがわがまま、親もわがまま、変な時代になってしまっています。

【男性 30 歳代】

- ・ アンケート内でも答えたのですが、男女の体、脳の構造の違いを考えると、男性が働き、女性が家事・育児に専念する方が自然な気がします。しかし、男性だけの給料では生活できなかつたり、女性も働くことに喜びを感じる方もいるように、人により様々だと思います。

【男性 40 歳代】

- ・ 男性、女性の違いを認め、それぞれの“らしさ”を尊重した共同参画社会を考えるべきです。また、偏った考え方をもった人の委員就任は絶対に止めるべきだと思います。

【男性 50 歳代】

- ・ 私は社会的・生物学的見地において「男性」には男性の役割、「女性」には女性の役割があると思います。だから法律、制度による両性のまったくの平等ということには疑問を感じま

す。日本の伝統文化や慣習の中には男性を優遇しているように見えるものもありますが、結局は女性のためになっているものがほとんどだと思っています。「夫婦別姓」など、社会を乱す以外の何物でもないと思います。

【男性 60 歳代】

- 男女共同参画社会という言葉の概要を改めて今回知りました。社会の仕組みやあり方を変革するという事は、今まで「あたりまえ」としてきたことを見直し、改善する訳ですから、大変な活動であることは容易に想像できます。基本的な理念として、そうあるべきだと思いますが、伝統的文化の一部には残しておきたいと思うものもあります。いずれにせよ、あらゆる分野への参加の門戸は解放されるべきです。適材適所に男女の差がなく、活動の域が広がるよう望みます。
- このプロジェクトはあまりにも男女共同参画、または男女権利平等の意識が強く出すぎていると思います。要は男女関係なく個人の自立（社会的、経済的、能力的、制度的自立）が必要であって、男女の性による違いはあって自然のことだと思います。欧米、北欧においてもその違いはあります。そしてそれが社会に有益に作用しています。大所、高所の立場から女性の特徴、男性の特徴、そして個人の能力が確立され発揮される社会が望まれます。そのための哲学、理想、そして施策検討が望まれます。弱者の救済が重要です。（女性が弱者とは限りません。）
- あまり意識したことはありませんでした。

【男性 70 歳代以上】

- 男女がお互いに愛し合い、睦み合い、信じ合い、理解し合い、反省し合う、寛容の精神を養成する正しい心の教育(宗教教育、道徳教育)が先決です。正しい心の教育によって精神に支柱がほしいです。目に見えない仏神の理想の心に沿って生きるべきだと思います。心の栄養となり、心を正しく育ててくれるもの、心の糧となり人生の指針となるもの、それが正しい宗教教育なのです。現世の混迷、混乱はこの大切な心の教育が、ないがしろにされているからだと思います。
- 男と女には動物学的な能力の違いがあります。体力や筋力などのほか、持続力・判断力・順応力など能力的にも違いがあります。（私の経験上）災害や事故に遭遇すれば悲鳴をあげてうずくまり、狼狽して次に何をどうすべきかの判断どころではない女性がほとんどだと思います。経験上のハンディもあると思いますが、視野が狭く業務上のトラブル対応然りであり、オレオレ詐欺の被害者が女性に比較的多いのも冷静沈着に対応できない例ではないでしょうか。野生の動物も自然に本能的にこれらの特性を活かし、役割分担を守り動物社会を形成しているものが多いです。人間社会においても我々はこのことをよく認識し、単なる「平等」ではなく「公平」な役割分担を考えてこそ、男女間の社会バランスが保てるものと考えます。事案によっては5:5を平等と考えるのではなく、例えば6:4、あるいは3:7などが公平であるケースがあることも真です。
- 男の仕事、女の仕事とされてきた歴史的背景を忘れてはなりません。社会構造の変革とともに、男女それぞれの役割も変わるべきですが、これら役割や権限の在り方を検討し啓蒙するのはよいですが、ルール化すべきことではありません。男女の特性を踏まえ、「平等」よりも「公平」を主眼に検討していただきたいです。昨今増加している尊属殺人（親の子殺し、子の親殺し）やDVの削減にも関連する課題であり、活動を期待しています。
- 男女共にお互いの人格を尊重して行動することで、法律で規制されるものではないと思います。そのためには各個人が勉強、切磋琢磨することが大事だと思います。最近のテレビドラマの主役は女性で大変勇ましいが、現実はそのようになものではありません。権利と義務、表裏一体であることを自覚して努力していただきたいです。
- 設問 20 の中での「1. 2. 3. 12. 13. 14」の徹底した見直しと、口先だけ、言葉遊びだけでなく、国、教育現場、各家庭の中での意識、教育の本腰を入れた大改革を実施するしかありません。もちろん男女の間には体型、体力といった根本的な違いがありますが、同じ1人の人間として産まれてきて、生きていくことには何ら変わりはないはずですが。ただ根本的な男女の違いについては、各々の特性を活かした分野を分担し合い、補っていく。男も

女も幸せに生きていける新しい人間社会の再構築、それこそ伝統文化や慣習にとらわれな
い、まったくゼロベースからの見直し、改革が必要です。もし私が女に生まれていたら、
今の日本社会には到底我慢できないと思います。

- お互いに意識し合って、不足なところはよく理解し合って直すように努力することで、男
女共同参画がうまくいくと信じています。高望みをせず、平々凡々の一日を過ごすよう
お互いが努力し合うことが大切で、一日一日を不満のないように心がけることが大切です。

【性別不明】

- 男女の対等、平等を履き違えないように進める必要があると思います。男女それぞれにし
かできないこともあると思います。